

音楽科学習指導案

日 時 平成24年10月4日（木）

児 童 第2学年 男子9名 女子10名 計19名

授業者 教諭 ○○ ○○

1. 題材名「いい音見つけて」

教材名「ゆかいなとけい」「森のたんけんたい」

2. 題材の目標

楽器の音色やリズムに興味・関心を持ち、繰り返しや変化などから生み出される音色やリズムの面白さを感じ取って聴いたり、楽曲に合う音色探しやリズム作りを通して、問いと答えの面白さを感じ取って演奏したりする。

3. 題材について

本題材は、繰り返しや変化などから生み出される音色やリズムの面白さを感じ取って聴くとともに、楽曲に合う音色探しや奏法の工夫、リズム作りの活動を通して、問いと答えの面白さを感じ取って演奏することをねらいとしている。

鑑賞教材「ゆかいな時計」は、時を刻む時計のリズムがウッドブロックで演奏されており、規則的なリズムが続くが、フレーズの終わりで急にシンコペーションがユーモラスに入ってくる。ここでは、オーケストラの演奏に混じって聞こえてくる「時計」を表す楽器の音色に着目し、時を刻むウッドブロック、目覚ましのトライアングル、時計が壊れていく様子を表したカウベルやホイッスルのそれぞれの音色の違いに気づいていく。さらに、規則的なリズムの繰り返しや、そのリズムに混じって出てくる変則的なシンコペーションのリズムに気づき、それによって生み出される楽曲の面白さを感じ取っていく。

「森のたんけんたい」は、歌詞の内容に合った響きの楽器を探し、歌唱奏を楽しむ教材である。曲の範唱を聴いて、楽曲のイメージをふくらませ、歌詞の内容に合う音を探していく。はじめは、それぞれの楽器に着目した楽器選びをする。次に、楽器の奏法を工夫することによって音色が変化することに着目し、音色の変化を感じ取る活動をする。さらに、かけ合いとなる部分のリズムをしっかりと聴き取って演奏し、歌と楽器のかけ合いから生まれる面白さを感じ取っていく。

4. 児童の実態

《 省 略 》

5. 題材の評価規準

	音楽への関心・ 意欲・態度	音楽表現の 創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
題材の 評価規準	楽器の音色やリズムに関心を持ち、音楽を聴いてそのよさや面白さを感じ取ったり、楽曲に合う楽器を使って、進んで表現したりしようとしている。	楽曲の音色やリズムを聴き取り、歌詞にあった楽器を選んで、表現や奏法を工夫し、どのように演奏するかについて自分の考えや願いをもっている。	楽曲の音色やリズムを聴き取り、歌詞にあった楽器を選んで、問いと答えの仕組みから生み出される面白さを感じ取って、歌ったり演奏したりしている。	音楽を特徴付けている音色やリズムの繰り返し・変化を聴き取り、それらの働きやかかわり合いが生み出すよさや面白さを感じ取って聴いている。

6. 題材の指導計画（5時間扱い 本時 1/5時間目）

	○学習のねらい ・ 学習活動	評価規準			
		関	工	技	鑑
第1時 (本時 1/5)	○音楽を聴いて、音楽を特徴付けている音色を聴き取る。 ・音楽が表す様子を想像して「ゆかいな時計」を聴く。 ・時計を表す音を聴き取り、音色から使われている楽器を想像する。 ・時計を表している楽器を曲に合わせて鳴らしながら確かめる。				○
第2時	○ウッドブロックのリズムの繰り返しや変化を聴き取り、曲の面白さを感じ取る。 ○楽器の奏法による音色の違いを聴き取る。 ・ウッドブロックのリズムを打ちながら「ゆかいな時計」を聴く。 ・ウッドブロックが鳴らすリズムのずれや繰り返しを確かめる。 ・体の動きを付けながら「ゆかいな時計」を聴き、曲の面白さを楽しむ。	○			○
第3時	○「森のたんけんたい」の範唱を聴いて歌う。 ○歌詞の内容や楽曲に合う楽器を探して演奏を楽しむ。 ・範唱に合わせて歌ったり、イの部分のリズム打ちをしたりする。 ・楽器の材質や奏法による音の違いを考えて、曲に合う楽器を選ぶ。 ・「森のたんけんたい」を楽器を加えて楽しく歌う。	○	○		
第4時	○歌詞の内容や楽器の奏法を工夫して、演奏を楽しむ。 ・歌に合うようグループで楽器の打つところや打つもの（ばちなど）、奏法などを工夫する。 ・歌ったり、聴き合ったりしながら、表現を楽しむ。		○		
第5時	○楽曲に合った楽器を選び、リズムによって演奏をする。 ・グループの中で互いの表現を聴き合う。 ・歌と楽器が重なりや掛け合いの面白さを感じ取って演奏する。			○	

7. 本時について

(1) 本時の目標

音楽を特徴付けている楽器の音色を聴き取り、音色の違いや面白さを感じ取って聴く。

(2) 本時案 (1 / 5 時間目)

過程	○児童の活動 ・ 予想される児童の動き	◆教師のはたらきかけ ★評価規準
つかむ	<p>○既習曲を歌う。</p> <p>○曲名を予想して曲を聴く。(聴く①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森のかっこう ・時計の音 ・馬のお散歩 <p>○予想を発表し合い、「ゆかいなとけい」という曲名を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かっこうかっこうという音がしたよ ・カチカチっていう時計の音が聞こえたよ ・馬の足音みたいだった <p>○本時の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>時計の音やゆかいな音をあらわすがつきを見つけよう</p> </div>	<p>◆身近なものを表していることをヒントに曲名を予想できるよう促す</p> <p>◆なぜ「とけい」だと思ったのか理由を聞く。また、「ゆかいな」部分にも触れ、課題設定へつなげる。</p>
考える・深める	<p>○時計の音を探しながら、曲を聴く。(聴く②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カチカチっていう時計の音がする ・ジリジリっていうベルの音が聞こえる ・カンカンっていう音もしたよ。 ・ヒューンっていう面白い音が聞こえた <p>○どんな楽器が使われているかを予想し、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウッドブロック ・カスタネット ・すず ・タンバリン ・シンバル ・カウベル ・トライアングル ・ふえ <p>○「時計を表す楽器」の音色に着目して聞き、それぞれの音色がどの楽器の音なのかを考える。(聴く③～④)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カチカチっていう音はウッドブロックだよ。 ・いや、カスタネットにも似てるよ? ・ベルの音はすずかな。 ・最後のカンカンはカウベルかな?シンバルかな? <p>○答えがまとまった後に、曲に合わせて楽器を鳴らしながら聴き、奏法についても交流する。(聴く⑤)</p> <p>○教師の演奏を見ながら正解を確認する。(聴く⑥)</p>	<p>◆児童の「ここだよ!」という声を拾って、聴き取る音を明確にしていく。</p> <p>◆発表で出てきた楽器カードを提示する。</p> <p>◆奏法を考えながら楽器を鳴らし、音を探すように促す。</p> <p>★曲を聴きながら、実際に楽器を鳴らして楽曲に使われている楽器を探したり、楽器の音色を聴き取ったりして、音色の違いや面白さを感じ取っている。</p> <p style="text-align: center;">【ワークシート、観察】</p> <p>◆演奏の様子を見て、黒板に各グループの答えを貼り出していく。</p> <p>◆奏法にも注目するように促す。</p>
まとめる	<p>○最後にみんなで楽曲で使われている楽器を使って、曲に合わせて演奏する。(聴く⑦)</p>	<p>◆時計の音に着目し、楽しく演奏しながら聴くように促す。</p>